



なご市議会だより



多嘉山侑三議員提供「第31回羽地ダム鯉のぼり祭り」

本会議の経過

第218回(3月)定例会は、下記の日程で市長提出議案16件、報告1件、意見書案5件が審議されました。その他ほか請願2件、陳情15件、事務調査1件(北部基幹病院等建設推進特別委員会)、報告1件(広報広聴委員会)が審査されました。審議の結果については、議案処理結果一覧をご覧ください。

傍聴について

市議会の本会議は一般に公開されています。議会でのどのような会議を行い、市政運営がどのように進められているのかが実際に見ることができます。第218回(3月)定例会においては、25人の傍聴者がいらしていました。

第219回(6月)定例会は、令和7年6月10日開会予定となっています。日程は、決定次第ホームページに掲載しお知らせいたします。

なお、傍聴については議場での傍聴のほか、インターネット中継もご利用いただけます。

名護市議会定例会及び臨時会

令和7年3月3日	第218回(3月)定例会開会、 会議録署名議員の指名及び会期決定、 陳情案件上程及び委員会付託、 施政方針説明・議案上程及び説明
5日	議案研究
6、7日	現地踏査
10日～17日	一般質問 計23人
19日、21日、24日	議案質疑
25日	付託事件の審査(常任委員会)
27日	委員会報告及び処理、議案審議(討論・採決)、 意見書案の処理

議会日誌

令和7年2月13日	広報広聴委員会
14日	経済建設委員会
27日	議会運営委員会
3月4日	北部基幹病院等建設推進特別委員会
17日	議会運営委員会、軍事基地等対策特別委員会
25日	議会運営委員会
28日	市民意見交換会に係る提言の市長手交
4月28日	議会運営委員会

第218回(3月)定例会における一般質問について、各議員が指定した事項とそれに対する答弁を要約して掲載しています。

なお、本会議(一般質問)については、各議員のQRコードを読み取ると録画配信を視聴できます。

また、下記のQRコードを読み取ると会議録検索システムもご利用になれますのでご活用ください。

市政に対する 一般質問から

会議録検索システム



市政方針より

その他の
主な質問

- ◆ パートナリシップ制度の導入について
- ◆ 公衆トイレの改修工事について

市単独での実施となると大変厳しいものがあると現在のところ考えています。

A 大城 智美 福祉部長

ます。

Q 翁長 久美子 議員

住民税非課税世帯への給付金事業は国の総合経済対策の一環として実施され、その財源は「重点支援地方交付金」を活用します。住民税非課税世帯に対して1世帯当たり3万円を支給するとともに、当該世帯の18歳以下の子ども1人につき2万円を加算し支給します。本市における対象世帯は約9,300世帯、対象となる子どもは約2,000人です。

高騰や経済環境の変化に対応し、市民の生活を支えるため、住民税非課税世帯を対象に3万円、さらに当該世帯の子ども1人につき2万円を加算し支給する給付金事業を実施します」とありますが、その財源と支給世帯数及び子ども数の数を伺います。

A 大城 智美 福祉部長



翁長 久美子 議員
☎080-6494-9787



Q 施政方針
「誰もが安心して暮らせるまちづくり」より。「物価

名護岳東部における森林伐採について

その他の
主な質問

- ◆ 基地問題について
- ◆ 教職員の働き方改革について

名護岳東部における森林伐採計画については、森林法第10条の5の規定により策定した「名護市森林整備計画」に基づいて取り組みます。当該整備予定箇所は沖縄海岸国定公園第2種特別地域に指定されているので、自然公園法第20条第3項に基づき、木竹を伐採する場合、都道府県知事の許可を受けなければならない地域となっています。また、沖縄県名護岳特別保護地区にも指定されていることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第7項に基づき、木竹を伐採する場合、都道府県知事の許可を受けなければならないとされており、指定地域において上記の行為を行う場合は、関係機関の許可基準に従い手続を行う必要があります。

A 宮良 昭宏 農林水産部長

中止を求める陳情が出されています。そこで、名護岳東部は国定公園区域あるいはその隣接区域であり、そのような場所でのような法的根拠を持って伐採計画を策定しているのか伺います。



東恩納 琢磨 議員
☎090-9786-9471



Q 名護岳東部における森林の伐採計画について、市民から伐採の

新基地建設に関して



大城 敬人議員
☎090-9595-1353



Q 県民投票から6年がたつ中で、新基地建設は県民・市民の意思

を無視して強行されています。稲嶺進前市長は市民・県民の意思を尊重し大浦湾の埋立てに反対し、美謝川の河口変更にも反対しました。そこで、政府は美謝川の河口変更のできる市長を誕生させるため渡具知市長を応援し、渡具知武豊市長が誕生した結果、再編交付金と引換えに渡具知市長の容認の下で辺野古の海が埋め立てられ、美謝川の河口は変更され、大浦湾が埋め立てられようとしています。戦争のための基地建設によって市民・県民の大切な財産である豊かな自然を失うことについて、市長はどのように受け止めているのか伺います。

A 渡具知 武豊 市長

再編交付金と引換えに私が埋立てを容認した旨の発言をされておりますが、そのような事実はありません。普天間飛行場代替施設建設事業が進む中において、私の発言が工事に影響することはないと考えています。したがって、市長である私のなすべきことは、市民の不安を払拭し、生活環境を守るための手段を講ずることだと考えています。

その他の質問

◆海砂利採取について

◆米軍基地の航空機などの音に関するアンケート調査に関して

公契約条例の制定について



多嘉山 侑三議員
☎090-9785-4635



Q (1) 市内の関係業界団体等からの条例制定に関する要望の有無について (2) 条例制定に向けての課題や今後の展望について、以上を伺います。

A 仲本 太 総務部長

(1) 本市の建設工事や委託業務の業者の関係団体として名護市建設関連四団体がありますが、公契約条例制定に関して要望したことはない伺っています。(2) 課題として、事業者側で①賃金台帳作成、下請関係報告書作成、立入検査等の対応などの業務量の増加、②各社における独自の給与体系、昇給制度に対する取扱いへの影響、③経年数を考慮せず賃金が一律になる可能性等が考えられます。また、実務上の課題として①条例の効果等、実効性の確保、②業界団体等の理解、③条例制定に伴う組織体制整備と賃金の支払状況の把握等の事務量の増加などが考えられます。名護市が公契約条例を制定したとしても、本市の条例で市外の労働条件の確保を目的とすることに疑義が生じることから、今後も県内他市町村の動向を注視し、時期を見据えながら慎重な検討が必要と考えています。

その他の質問

◆企業誘致の地域経済波及効果について

◆辺野古浄水場の廃止及びその解体後について

新一般廃棄物処理施設について



宮里 尚議員
☎090-5472-1174



Q これまで他市町村より厳しかったごみ分別区分の見直しについて

A 岸本 康孝 環境水道部長

これまで本市は、特にプラスチック類の分別について県内他市町村と比べて分別を細分化し、16分別となっていました。令和7年4月7日以降の新分別では、従前の「燃やしていごみ」、「紙おむつ」、「プラスチック製容器・包装」、「その他のプラスチック・ビニール」、「ゴム製品」、「食用油」を「燃やしていごみ」に、従前の「家庭用金属類」、「小型家電製品」を「金属類」に統一します。これにより10分別に簡素化され、県内他市町村と比べても負担は変わらないものとなります。ただし、新分別の燃やしていごみのうち、紙おむつと食用油については、従前の排出方法でも収集します。紙おむつについては、子育てや介護に関する費用負担の軽減を図る目的から、指定袋ではなく半透明の袋で排出することができ、食用油については、かすなどを取り除いてペットボトルに入れて栓をして排出することとバイオディーゼル等としてリサイクルされます。

その他の質問

◆高齢者福祉について

◆教職員の精神疾患について

名護市陸上競技場について



嘉数 剛議員
☎090-8294-0959



Q 陸上競技場の修繕について、さきの一般質問の答弁では予算が

つかないとのことでしたが、その後の進捗について伺います。

A 宮城 浩二 地域経済部長

昨年10月に、陸上競技関係者に名護市陸上競技場に関する意見交換とアンケート調査を行いました。陸上競技関係者からは、現陸上競技場の場所で公認を取るのには難しく、建て替え・移転が必要であるという確認を得て、現陸上競技場では機能維持及び安全確保等についての優先順位を含む意見・要望を確認したところです。令和7年度当初予算においては、本年度6月に老朽化により使用不能となった投てきサークル囲いの設置及び夕刻から夜間に使用している投光器を現在の水銀灯からLED照明への取替えの予算について計上しています。しかしながら、陸上関係者から要望の高かった管理棟の設置など多額の費用を要するものについては、引き続き予算の確保に努めたいと考えています。

その他の主な質問

◇ 新一般廃棄物処理施設の供用に伴うごみ収集員の制服の採用について

◇ 名護市役所移設先の最終決定までのスケジュールについて

教育行政について



福澤 奈美議員
☎090-7471-4295



Q キャリア教育の推進プログラムについて、本市の取組を伺います。

A 仲井 間修 教育次長

本市は名護市教育振興基本計画にキャリア教育の充実を定め、小学校から高等学校まで児童生徒一人一人が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら自身の変容や成長を自己評価できる「キャリア・パスポート」の活用を推進しています。また、各学校ではキャリア教育の推進プログラムを策定し系統的なキャリア教育を進め、教育委員会はキャリア教育コーディネーター2名を配置し、地元産業の実情を踏まえ、全小学校でジョブシャドウイング、全中学校で職場体験を実施しています。キャリア教育コーディネーターは、事業所と学校をつなぐ窓口として計画の段階から担当教諭を支援し、受入事業所との調整では職場見学や体験だけでなく総合的な学習の時間の職業人講話や教科等へつなげ、より関わりが進展できるように取り組んでいます。加えて、各小・中・高の担当者を受入事業所との意見交換会を行うなどの取組も実施しています。

その他の主な質問

◇ フードバンクの支援について

◇ 「だれでも食堂」の継続的な活動につながる支援策について

令和7年度施政方針について



平 光男議員
☎090-8836-2408



Q 令和7年度施政方針の市内の均衡ある発展についてから、「各

地域の振興については、地域の特性を活かし、継続的、安定的に、地域の方が活用できるものを事業に展開しながら、各地域の拠点形成に取り組みます」とありますが、令和4年度から令和6年度において「地域の方が活用できるもの」を事業にどのように展開し、令和7年度ではどのような事業を予定されているのか伺います。

A 山中 佑美 企画部長

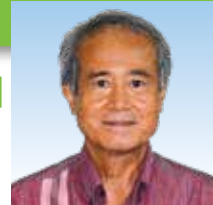
令和4年度から令和6年度までの施政方針で掲げてきたものを例示しますと、「コミュニティバスの運行、いさがわ市営住宅や、やが市営住宅整備に向けた取組、屋部地区センターの整備、国立療養所沖縄愛楽園の将来構想に係る取組、わんさか大浦パークの機能強化、久辺三区における農業集落排水整備事業、農道等の整備、汀間漁港の機能拡充などがあります。また、令和7年度においては、先ほどの取組のうち、継続して事業を続けていく必要があるものや事業の完了に向けて進捗を図っていくものを中心に取組を進めていきます。

その他の主な質問

◇ 振慶名中線における自転車道とカーブミラーの設置について

◇ 自治会への加入促進策について

介護認定について



石嶺 康政議員
☎58-1539



Q 介護認定
申請手続の方
法について伺
います。

A 大城 智美 福祉部長

要介護認定を受けるためには、まず市への申請が必要となります。申請を受理後、市は主治医に対して原因疾病などについて記入していただく主治医意見書の提出を依頼します。それと併せ、介護認定の調査を行います。調査は、市から派遣された認定調査員が自宅等を訪問し、状態の確認のため、本人と家族などから調査票による聞き取りを行います。次に、主治医意見書と認定調査票がそろった時点で一次判定としてコンピュータ判定を実施し、その結果を基に二次判定を行います。二次判定は保健、医療、福祉の専門家で構成される介護認定審査会を開催し、委員が総合的に介護度の審査を行っており、この二次判定により要介護認定が決定します。二次判定後は結果を速やかに通知しています。

Q 石嶺 康政 議員

申請から認定決定までの平均的な期間はどれぐらいですか。

A 大城 智美 福祉部長

名護市での平均は45日となっています。

その他の質問
その主な質問

- ◇ マングースの防除について
- ◇ 公共施設予約システムの運用等について

伝統文化親子教室事業について



仲尾 ちあき議員
☎090-9585-5258



Q 市内各地域には、先祖代々の貴重な文化があります。語り受け

継ぐ中で、担い手や語り部がいいため継承できないといった昨今の課題があります。そこで、平成26年度に創設された文化庁の伝統文化親子教室事業について伺います。

A 宮城 浩二 地域経済部長

本事業は、次代を担う子どもたちに対して、伝統文化・生活文化等を体験・修得するきっかけづくりや、これらの機会を計画的・継続的に提供する取組を支援することにより、子どもたちの豊かな人間性の涵養を図るとともに、伝統文化等を継承・発展させることを目的としています。令和6年度は文化庁事業として、小学校・中学校等に文化芸術団体、または個人や少人数の芸術家を派遣し、子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保し、子どもたちの豊かな創造力(想像力)や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につながることを目的としている「文化芸術による子ども育成推進事業」の助成を受けています。

その他の質問
その主な質問

- ◇ 「地域幸福度Well-being指標」の策定までの取組について
- ◇ 児童相談所について

带状疱疹ワクチンの定期接種化について



大城 秀樹議員
☎090-1944-6680



Q 国は带状疱疹ワクチンの定期接種化を令和7年4月から始める

としていますが、名護市はどのように対応していくのか伺います。

A 伊野波 盛満 市民部長

带状疱疹は、加齢や疲労、免疫抑制状態などの免疫力低下によって水ぼうそうのウイルスが再活性化して起こる病気です。主な症状は、体の左右どちらかの神経に沿って痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に発生し、その症状が治癒した後、合併症で痛みが数か月から数年持続することもあります。国において、令和6年12月に予防接種法の「B類疾病」に位置づける方針が示され、定期予防接種が開始されます。本市でも4月から接種を開始できるよう調整を進めています。带状疱疹ワクチンは「乾燥弱毒生水痘ワクチン」と「乾燥組換え带状疱疹ワクチン」の2種類があり、接種を受ける方がどちらか1種類を選択して接種します。乾燥弱毒生水痘ワクチンの自己負担額は3,000円、乾燥組換え带状疱疹ワクチンは2回の接種が必要で、自己負担額は2回の接種で1万4,000円とする予定です。

その他の質問
その主な質問

- ◇ 学校給食摂取基準について
- ◇ 市立小中学校の体育館における空調設備について

ひとり暮らしの高齢者を守る緊急通報システムの構築について



金城 善英議員
☎54-1259



Q ひとり暮らし高齢者世帯において、ドアや冷蔵庫などに動きを

感知するセンサーを設置し、24時間動きがなかった場合はオペレーターが安否確認を行う事業について伺います。

A 大城 智美 福祉部長

ご提案の安否確認サービスは、センサーによって状況把握ができるサービスであり、現在市で提供中の緊急通報システムの高齢者自らがコールセンターへ通報することにより状況把握につながるサービスとは異なります。現在のシステムは、高齢者が自らの意思で任意に通報できる点を生かし、日常生活の小さな不安、軽い体調不良の際にも活用されるなど、ひとり暮らし高齢者の日常生活における安心感の醸成にも寄与しています。センサーを活用した安否確認サービスは、現行のシステムと組み合わせた運用ができるならば、状況把握方法の多様化が図られるため、より安心して暮らせる環境の構築に資するものと思われま。当面は現行のシステムを継続しつつ、同様のサービスの先進事例や関連技術の動向把握に努めます。

その他の主な質問

◆ 学校施設における体育館等への空調設備の整備について

◆ 带状疱疹ワクチン定期接種の取組について

学童保育の待機児童の解消の取組と支援について



岸本 洋平議員
☎090-3796-2401



Q 市内の学童保育の現状、待機児童の状況、改善策・支援策について

て伺います。

A 早瀬川 章子 こども家庭部長

放課後児童クラブは、令和7年度は28か所、定員数は1,147人の予定です。令和7年2月末日現在の待機児童は20人となっており、各放課後児童クラブに定員数を増やすことにより受入れができないか、送迎により対応できないかなどの調整を行っており、また新規開設も促しています。

Q 岸本 洋平 議員

学童補助金の概算払いを早めることはできないか伺います。

A 早瀬川 章子 こども家庭部長

現在、放課後児童クラブへの補助金の概算払いは交付決定額の6割を6月から7月頃に支払っており、2回目概算払いとして11月から12月頃に3割の支払いを行った後、実績報告を基に残りの1割を翌年の5月に支払っています。概算払いの早期の支払いに向けて申請方法や他市の状況を調査し、関係部署と調整を図りながら検討したいと考えています。

その他の主な質問

◆ 快適な通信環境(Wi-Fi)の提供について

◆ 道路行政について

「普天間飛行場代替施設の建設に伴う影響に関する協議会」について



古波蔵 太議員
☎090-1086-3264



Q 令和6年5月15日に第1回協議会が開催されましたが、その後

の進捗について伺います。

A 渡具知 武豊 市長

去る2月27日に第2回協議会が開催されました。協議会は内閣官房副長官、関係省庁の局長級及び名護市長により構成され、辺野古、久志、豊原の3区長も出席しました。名護市民の安全安心な生活環境を確保するために移設工事に伴う安全対策や交通渋滞対策、使用協定の締結、日米地位協定の課題の解決、米軍関係の事件・事故への対策等について協議を行い、政府からは、引き続き米側に対し、地元への影響が最小限になるようしっかりと働きかけ、対応を求めていくなどの回答がありました。

Q 古波蔵 太 議員

3区長からどのような要望があつて、どのような回答があつたのか伺います。

A 祖慶 実季 総務部参事

基地により発生する諸問題の解決、また3区のまちづくりへの支援についての要望があり、引き続き何ができるか検討する旨の回答がありました。

その他の主な質問

◆ 名護市少年野球場の音響設備について

◆ 沖縄バス名護2路線の統合について

巡回ラジオ体操・みんなの体操会の誘致について



嘉陽 宗一郎議員
☎080-6491-1028



Q 巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催により地域交流の促進

や健康増進、また本市のPRにもつながると考えています。以前に誘致を提案しましたが、その後の進捗を伺います。

A 宮城浩二 地域経済部長

巡回ラジオ体操・みんなの体操会は7月から8月の夏休み期間に全国を巡回し、その模様はNHKラジオ第1で全国生放送されます。本市としても市民の体力向上・健康増進等に資する取組であることから、令和2年に希望していましたが、新型コロナウイルスの影響から、デジタル巡回ラジオ体操会となった経緯があります。今回、議員の提案を受けて再度エントリし、本市での開催が決定しました。名護市開催は市制55周年にちなみ、8月1日の金曜日、朝6時開会、6時半にラジオ体操の予定であり、会場はEnagicスタジアム名護サッカー・ラグビー場を予定しています。住民の健康維持・増進及び体力向上としてラジオ体操のすばらしさを再認識するとともに、全国へ名護市を発信する機会にしたいと考えています。

その他の質問
その主な

◇ レジ袋代替品としての指定ごみ袋の販売について

◇ 源河大川のしゅんせつについて

源河大川のしゅんせつについて



宮城 さゆり議員
☎090-9786-7321



Q (1) 市内における河口の土砂堆積の状況について

における直近3年間のしゅんせつ回数と土砂量について(3) 沖縄県の見解について、以上を伺います。

A 岸本 啓史 建設部長

(1) 直近では世富慶川・幸喜川・安和前川の河口閉塞に伴い、流水がスムーズに流れず、流水が滞留し、悪臭などの生活環境の悪化が懸念されたことから、河口の堆積土砂しゅんせつ作業を実施しています。(2) 令和4年度の実績はありません。令和5年度に2回、令和6年度に6回のしゅんせつ作業を行っており、搬出土砂は、直近3年間で460立方メートルとなっています。(3) 東江海岸の海岸管理者である県北部土木事務所に確認したところ、「世富慶川は準用河川となっており、名護市が管理し必要な整備を行うこととなっております。河口閉塞の改善についても名護市が主体となって取り組む必要があると考えております」との回答がありました。河川管理者は名護市ですが、河口閉塞の原因については海岸管理者である沖縄県と調整を図りながら対応したいと考えています。

その他の質問
その主な

◇ 通学路の安全確保について

◇ 福祉バスの利用状況とその課題について

西屋部川、勝見橋周辺の工事の進捗状況について



比嘉 宏正議員
☎090-8294-0045



Q (1) 西屋部川、勝見橋周辺の工事の状況を伺います。(2) 止

まっている護岸工事について伺います。

A 岸本 啓史 建設部長

(1) 県において令和7年度から令和8年度に橋梁下部工の橋台1基及び橋脚1基の工事を実施し、令和9年度に橋梁下部工の橋台1基と擦り付け護岸工を施工予定で、市において令和10年度より橋梁上部工及び道路改良工事を実施します。(2) 護岸工事について県北部土木事務所に確認したところ、勝見橋の橋梁下部工施工後、上流側から順次着手予定のことです。

Q 比嘉 宏正 議員

遅れが生じている県企業局と市の送水管工事ですが、その原因を伺います。

A 岸本 啓史 建設部長

県の工事について、岩盤の掘削に時間を要したことなどから遅れているとのことでした。

A 岸本 康孝 環境水道部長

市の工事については、施工方法などの設計変更を行う必要が生じたことから遅れています。

その他の質問
その主な

◇ 建設工事や設計業務等の最低制限価格等の引上げについて

◇ ジャングリアの開業に向けての渋滞緩和対策等について

農業について



比嘉 拓也議員
☎090-8292-9278



Q 今年1月、市内の野菜農家の畑から収穫直前のキャベツが盗まれました。このような被害に対する市当局の対応について伺います。(1)農機具や生産物の盗難等の被害状況について(2)被害への対策について。

A 宮良 昭宏 農林水産部長

(1)令和6年度においては、キャベツの盗難被害状況を確認しているほか、屋部地域で果樹の盗難が2件、羽地地域で資材の盗難が1件、屋我地地域で果樹の盗難1件、資材の盗難が2件あったとの情報が寄せられています。(2)具体的に生産者が行う取組として、ネット・柵などの設置や「立入禁止」などの看板の設置により畑へ侵入しにくい環境を作ることや、収穫物や道具を畑に放置しない、侵入者を見分けるために作業者は腕章、農作業車両にはステッカーなどの目印をつけるなどの取組があります。また、地域で行う対策としては、地域の生産者や警察が連携してパトロールを実施し、不審者や不審車両を見かけた際は速やかに通報するとともに、その情報についてはチラシや防災無線などにより共有することも有効とされています。

その他の主な質問

◇国営環境保全型かんがい排水事業について

◇国立療養所沖縄愛楽園の将来構想について

スポーツ・観光行政について



比嘉 勝彦議員
☎090-1518-5640



Q 名護市アーバンスポーツパーク整備事業の進捗状況について伺います。

A 宮城 浩二 地域経済部長

アーバンスポーツパーク整備事業については、イオン名護店従業員駐車場にスケートボードとBMXコース及び3×3コート等、大会や合宿などが行える施設として、令和7年度中の供用開始を見据えて取り組んできました。令和5年12月に実施設計を行い、令和6年6月末に業務を完了しています。事業用地の地権者へ事業内容及び開発行為許可申請に係る同意書の取得について説明を行ったところ、地権者からは当該事業に対し事業への反対ではなく、地権者の事情により同意することができない旨の回答があったことから開発行為の許可申請手続ができず、施設整備工事の着手ができない状況となったため、同意書が取得できるまでの間、一旦事業を休止することとなりました。地権者からの同意書の取得は、令和7年度中を目指して引き続き交渉を行い、整備工事については補助金の活用を視野に入れて事業の採択を目指したいと考えています。

その他の主な質問

◇「名護市立学校における働き方改革推進計画」について

◇日米地位協定の改定の求め方について

名護市の小規模校について



長山 正邦議員
☎080-3717-9561



Q 瀬喜田小学校、真喜屋小学校、稲田小学校、安和小学校の児童数と、小規模校の存続に向け、何か対策等を考えているのか伺います。

A 仲井 間修 教育次長

令和7年2月1日現在、瀬喜田小学校は39人、真喜屋小学校は68人、稲田小学校は106人、安和小学校は80人となっています。また、小規模校の適正化について、令和7年2月に「名護市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定しています。本方針において、小規模校の適正化を図る手法として、現時点で複式学級が発生している、または将来推計で複式学級が発生し、その状況が恒常的になることが予想される安和小学校と瀬喜田小学校については、通学区域の弾力化と「特認校制度」等を採用するとともに、子育て環境の充実についての検討も含め、それぞれの学校の状況に応じて設定を行い、単式学級の維持を目指します。しかし、これらの手法を講じてもおお複式学級の解消が見込めないと判断される学校については、近隣校との統合について検討することとしています。

その他の主な質問

◇名護市一般廃棄物処理施設の稼働について

◇名護市の下水道管の状況について

市内の市道・県道・国道における信号機等について



島袋 力議員
☎54-3896



Q 市道 44
9 号線志味屋
線及び県道 84
号線宮里中線
における信号

機等について伺います。また、信号機等に係る改善要望やその手続について伺います。

A 仲本 太 総務部長

信号機の設置や既設信号機の表示時間延長を含めた対策については、交通管理者である名護警察署が要望のある箇所の交通量や交通状況、他方向の交通量に与える影響等を総合的に判断した上で設置や変更が必要と判断された場合、県公安委員会に上申を行います。市道 44 号線志味屋線及び県道 84 号線宮里中線における信号機の設置や渋滞緩和のための信号機の時間延長を含めた対策については、要望等がありましたら名護警察署に対し情報提供を行います。なお、信号機等の設置・修繕、横断歩道や車両停止線等の道路標示の引き直しなど、交通安全に関する改善・要望のほか、相談・手続等は、住民や区などから名護警察署へ直接連絡、相談していただくことにより早期に現場状況を把握し、よりスピーディーな対応のほか、関係機関の情報を正確に提供できることから、遠慮なくお問い合わせくださいとの回答を得ています。

その他の質問
その主な質問

- ◇ 公立沖縄北部医療センターについて
- ◇ 教育観光について

旧消防庁舎等跡地問題について



吉居 俊平議員
☎59-6868



Q 旧消防庁
舎等跡地の買
戻しについて
市は誰に最終
的な責任があ

ると認識しているのか伺います。

A 山中 佑美 企画部長

有限会社サーバント、大和ハウス工業株式会社、株式会社アベストコーポレーションの 3 者に事業を進めていく責任があったと認識しています。

Q 吉居 俊平 議員

土地買戻しの根拠と買戻しとなった要因を伺います。

A 山中 佑美 企画部長

事業実施計画書の変更において、事業者が示したスケジュールについて、各項目の期限に完了していない場合は、延長の承認を撤回することとしており、一般図打合せが期限までに完了しなかったことから承認を撤回し、買戻しを行いました。

Q 吉居 俊平 議員

事業の設計・施工の責任者はどの企業なのか伺います。

A 山中 佑美 企画部長

一般図打合せの作成は大和ハウス工業株式会社において行われるものと認識しています。

その他の質問
その主な質問

- ◇ 政治と金の問題について
- ◇ 再編交付金と行財政改革に伴う代替財源の確保状況について

有機フッ素化合物(PFOS)による環境汚染について



神山 正樹議員
☎090-7440-2751



Q 有機フッ
素化合物(P
FOS)によ
る環境汚染に
ついて第 21

7 回 12 月定例会において取り上げましたが、その後の取組について伺います。(1) 国に対して土壌に関する基準値の設定を求めるとしていたことについて(2) 土壌と水質の全県調査の結果公表について(3) 区営水道の検査項目に PFOS・PFOA を含めることについて。

A 岸本 康孝 環境水道部長

(1) 県環境部環境保全課へ確認したところ、県は県内の河川、地下水、土壌等で PFOS 等が検出されることに関し、その数値を評価するための基準値等が必要なことから、これまでも機会があるごとに国に対し基準値等の設定を求めてきており、引き続き求めていくとのことです。(2) 令和 6 年度の全県調査の結果は年度内に公表予定と伺っています。(3) 区営水道の検査項目に PFOS・PFOA を含めるかについて、実施主体である世富慶区、許田区、幸喜区、喜瀬区に確認したところ、現時点で 3 区が了承、1 区が 3 月の区評議会で検討し回答することになっています。了承いただいた区については、令和 7 年 4 月から検査項目に含める予定です。

その他の質問
その主な質問

- ◇ 市政方針から
- ◇ 保安林の違法状態の是正について

第218回(3月)定例会議案処理結果

事案番号	件 名	議決月日	処理結果
議案第8号	名護市職員の休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	3月27日	原案可決
議案第9号	名護市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	3月27日	原案可決
議案第10号	名護市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	3月27日	原案可決
議案第11号	市道路線の認定について(名座喜16号線、名座喜17号線、名座喜18号線)	3月27日	原案可決
議案第12号	令和7年度名護市一般会計予算	3月27日	原案可決
議案第13号	令和7年度名護市国民健康保険特別会計予算	3月27日	原案可決
議案第14号	令和7年度名護市後期高齢者医療特別会計予算	3月27日	原案可決
議案第15号	令和7年度名護市介護保険特別会計予算	3月27日	原案可決
議案第16号	令和7年度名護市水道事業会計予算	3月27日	原案可決
議案第17号	令和7年度名護市下水道事業会計予算	3月27日	原案可決
議案第18号	令和6年度名護市一般会計補正予算(第8号)	3月18日	原案可決
議案第19号	令和6年度名護市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	3月18日	原案可決
議案第20号	令和6年度名護市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	3月18日	原案可決
議案第21号	令和6年度名護市介護保険特別会計補正予算(第4号)	3月18日	原案可決
議案第22号	令和6年度名護市水道事業会計補正予算(第1号)	3月18日	原案可決
議案第23号	名護市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月27日	原案可決
報告第1号	専決処分した事件の報告について(市長の専決事項の指定による処分)	3月27日	報告済
意見書案第2号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書	3月27日	原案可決
意見書案第3号	物価上昇に見合う公的年金の引上げを求める意見書	3月27日	原案可決
意見書案第4号	国の制度創設による学校給食費の無償化を求める意見書	3月27日	原案可決
意見書案第5号	適格請求書等保存方式(インボイス制度)等の廃止を求める意見書	3月27日	否 決
意見書案第6号	地方自治を尊重し沖縄県が行った辺野古移設の是非を問う県民投票の結果に従う国会決議を求める意見書	3月27日	否 決
請願第7号	旧消防庁舎等跡地について市長の見解と公開説明会の開催を求めることについて	3月27日	継続審査
請願第8号	東江五丁目「埋め立ての碑」を東江海浜公園内に移設することについて	3月27日	取下げ
陳情第5号	国民保護の特殊標章について、早急にテレビ、ラジオ等のメディアを活用し、その存在と重要性を啓発することを求めることについて	3月27日	継続審査
陳情第14号	公契約条例の制定を求めることについて	3月27日	継続審査
陳情第15号	防災行政無線の設置について	3月27日	継続審査

↖ 次頁に続く

事案番号	件名	議決月日	処理結果
陳情第30号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求めることについて	3月27日	採 択
陳情第31号	物価上昇に見合う公的年金の引上げを求めることについて	3月27日	採 択
陳情第33号	公立沖縄北部医療センターの公共下水道接続に関することについて	3月27日	継続審査
陳情第34号	真喜屋小学校の児童数確保について	3月27日	採 択
陳情第35号	真喜屋運動広場周辺及び近隣集落の排水機能の改善について	3月27日	継続審査
陳情第36号	稲嶺区内の排水機能の改善について	3月27日	継続審査
陳情第37号	源河区の防災行政無線難聴地域への対応について	3月27日	取下げ
陳情第38号	名護市安部区沖における海砂利採取の中止を求めることについて	3月27日	継続審査
陳情第39号	名護岳東部における森林伐採の中止を求めることについて	3月27日	継続審査
陳情第40号	我部祖河区緑地公園へのトイレ設置について	3月27日	継続審査
陳情第41号	辺野古平島海域付近での事故に関することについて	3月27日	継続審査
陳情第42号	国の財源による給食費の無償化制度設立を求める意見書提出及び国による制度設立まで県と貴自治体が協力して無償化実現を目指すことについて	3月27日	採 択
	北部基幹病院設立促進を図ることについて	3月27日	継続審査
	広報広聴委員会の報告について	3月27日	報告済

第218回(3月)定例会議案処理結果(全会一致を除く賛否一覧)

事案 番号	件名	議決 月日	処 理 結 果	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成 者 数	反 対 者 数	礎之会										にぬふあぶし 名護			市民 ネット		公明		無会派						
								嘉 陽 宗 一 郎	比 嘉 宏 正	古 波 蔵 太	福 澤 奈 美	嘉 数 剛	島 袋 力	長 山 正 邦	仲 尾 ち あ き	金 城 隆	宮 城 さ ゆ り	比 嘉 拓 也	平 光 男	比 嘉 勝 彦	岸 本 洋 平	神 山 正 樹	石 嶺 康 政	大 城 松 健	翁 長 久 美 子	金 城 善 英	大 城 秀 樹	多 嘉 山 侑 三	吉 居 俊 平	宮 里 尚	東 恩 納 琢 磨
議案 第12号	令和7年度名護市一般会計 予算	3月 27日	可	25	24	15	9	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
議案 第18号	令和6年度名護市一般会計 補正予算(第8号)	3月 18日	可	23	22	16	6	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	×	×	欠	○	○	×	×	○	×	欠
意見書案 第5号	適格請求書等保存方式(イン ボイス制度)等の廃止を求め る意見書	3月 27日	否	25	25	12	13	×	×	×	×	×	×	×	議長 ×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
意見書案 第5号	地方自治を尊重し沖縄県が 行った辺野古移設の是非を 問う県民投票の結果に従う 国会決議を求める意見書	3月 27日	否	25	24	11	13	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○

※意見書案第5号については、採決の結果、可否同数となったため地方自治法第116条第1項の規定により議長裁決を行い決定した。

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、-…不明 ※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合を除く)

市民意見交換会に係る市長提言について

第9回市民意見交換会に係る市長への提言事項について、市長へ手交を行いました。名護市議会を代表して手交に参加した議員及び市長との意見交換も行いました。

提言内容

名護市役所及び環境対策課の代表電話の回線数や電話交換手の配置を見直した上で回線の増数や電話交換手の増員によるサービスの向上を求めます。

手交日 令和7年3月28日(金)

参加者 金城隆議長、比嘉拓也広報広聴委員会委員長、福澤奈美広報広聴委員会副委員長

対応者 渡具知武豊市長

市長に対して、金城隆議長から「第9回市民意見交換会に係る市長への提言事項について」を手交し、比嘉拓也広報広聴委員会委員長から提言理由の説明及び第9回名護市議会市民意見交換会報告書の手交を行いました。

手交の際の意見交換の中で市長からは、代表電話の課題について、つながりにくい時間帯や予算等の状況を確認した上で、どのような対応ができるかを関係各課と連携して検討したいということでした。また、令和6年7月導入の粗大ごみの回収申込LINEを紹介され、粗大ごみ回収に係る市民サービス向上と併せて環境対策課の代表電話に係る課題の改善にもつながっていくのではないかと話がありました。

議長からは、名護市新設廃棄物処理施設の運用開始に伴い、高齢者をはじめ多くの方からの問合せが今以上に増えると思うので、区長会等の場を活用してごみの分別表等の情報提供を行うことで電話による問合せが減るのではないかと提案がありました。

市長からは、市民へのごみ分別等の周知方法についても速やかに確認するとして、手交後には、令和7年3月に環境対策課が各支部区長会に対してごみ分別等の変更点について周知し市民のひろば4月号と併せて案内できるようごみ分別等のパンフレットの配布を行ったという回答を得ました。



※「第9回市民意見交換会に係る市長への提言事項について」及び「第9回名護市議会市民意見交換会報告書」について、名護市議会ホームページの市民意見交換会のページ上に公開していますので併せてご参照ください。